

Essay Structure & Rules (エッセイ基本構造とルール)

エッセイには守らなければならない基本構造とルールがあります。
ここではそれらを確認していきます。

Essay Structure (エッセイの構造)

大まかに下の3つのセクションに分けることができます。

1. Introduction (序説、前置き)
2. Body part (内容)
3. Conclusion (結論)

ここで注意していただきたいのは、Introduction→Body→Conclusion となっておりますが **Introduction** で既に自分の結論を言うってしまうということです。

日本語での起承転結スタイルがありますが、英語では結論→根拠と理由説明→繰り返す結論というスタイルです。

簡単に上の3つのステップを書き換えると

1. Introduction (Conclusion)
2. Body (Conclusion の立証 = 理由、根拠)
3. Conclusion

ということです。

書いてみるとわかりますが、このスタイルはとても論理的です。エッセイでは面白さ、カッコ良さ、正論よりも**論理的**であることに評価の焦点が置かれます。

論理的であるためにはまず構成がしっかりとしていないと大きく失点してしまいますので、この構成は絶対に守ってください。

Introduction:始め方

「構成はわかったけど、じゃあどうやって始めればいいのか？」と疑問に思う方もいるでしょう。先にも説明した通り、Introduction には自分の結論を言うこと。しかしいきなり結論を挿入しただけでは何がなんだかわかりません。現在の状況や問題に触れてから「では、そのことについて自分の意見としてはこれです」という風を書いていきます。

このプロセスを Narrow down と言います。イメージとしては Filter (濾し器)を想像してください。漠然とした問題、近況から具体的な自分の意見まで話を狭めるということです。

例:

Question. What do you think about the current situation that prime ministers have changed so many times in recent years in Japan? Write your opinion with 3 valid and clear supporting details in 350-500 words.

Several years after the Prime Minister Junichiro Koizumi completed his 4 years for the prime minister in Japan, Japanese politics has been unstable due to shifts from a prime minister to another in such a short period. It might be considered as political flexibility. However, this political instability may cause a lot of confusion in the nation. I strongly believe that this is one of the serious issues to be solved as soon as possible. There are three reasons why I think so.

このような感じですが。最初に状況を述べ、問題を提示し、その問題についての自分の意見(結論)を述べています。下線部は結論です。AIU のオープンキャンパスにいらっしゃった方なら過去問と Essay の書き方を配布されたかと思いますが、そのガイドに書いてある通りこのような書き方が基本になります。

人によっては There are three reasons why I think so.の文の代わりに理由を列挙することもありますので、一応参考までに。

あまりイントロを長く書きすぎると、字数が足りなくなったりくどくなったりするので注意してください。

*この問題は実際に試験に出たものではありません。あくまで作者が例として作成しました (訳は載せていません。ご了承ください)

Body part (理由根拠の立証)

このパートは自分の結論、意見を証明しなければいけないパートです。

エッセイが 350-500 字ということなので段落で言えば 3 つでしょう

(具体例 3 つや理由を 3 つ挙げよという問題が大抵なので)

ここで重要になってくるのが **アウトライン** です。自分が何を書くのかを示した
いわば地図みたいなものです。このアウトライン作成方法は EER サイトの別セ
クションに用意してありますので参照ください。

Body part の一番よくあるセオリー通りの進行の仕方は

First, of all,

Second,

Third,

という風に段落の最初に「最初に、二番目に、三番目」という風に

※これらの転換語の後はその段落の Topic Sentence が来るようにすること。

Topic Sentence というのはその段落で語られるトピックのメインと成る考えを述
べる文のことです。

一つの段落に付き一つのトピックということを忘れずに！

ちなみにこの立証する 3 つのポイントのことを Aspect (アスペクト) や Supporting
Detail (サポーターティングデテール) と呼びます。

Conclusion (結論)

Introduction と Body が書き終わったらついに Conclusion (結論) です。

結論では、**今まで述べたこと (立証したこと) の簡単な要約をして、自分の結論
意見をもう一度繰り返して締め**ということになります。

あまり長すぎず、短すぎず。難しいことはわかりますが、結論が長すぎればグ
ダグダになってしまうし短すぎれば読者に「それだけ？」という感情を抱かせ
てしまい、せっかく良い内容が欠けても内容の薄いエッセイに見られてしまう
可能性があります。ですから出来る限り気をつけてください。

Rules (エッセイを書く上で守らなければならないルール)

1. Essay には Introduction, Body, Conclusion part がなければならない

2. 段落が変わるごとに Indent (段落字下がり)すること

例

Several years after the Prime Minister Junichiro Koizumi completed his 4 years for the prime minister in Japan, Japanese politics has been unstable due to shifts from a prime minister to another in such a short period. It might be considered as political flexibility. However, this political instability may cause a lot of confusion in the nation. I strongly believe that this is one of the serious issues to be solved as soon as possible. There are three reasons why I think so.

First of all,

このように段落が変わる時は必ず Indent (字下がり)すること。

3. No use of conversational English (口語英語は使用不可)

あまり知らないで使っている方が結構いますが、例えば

This is so interesting. この文で強調意味である so は本来会話でしか使われない non-academic English words (非学術英語)です。

これをちゃんとした正式論文英語 (academic English words)で書くと

This is considerably interesting/This is highly interesting. 等となります。

その他にも色々ありますが、これは添削されないと直すことが難しいので作者が添削の中で見つけ次第訂正したいと思います。

4. Thesis statement (Essay 全体の趣旨、自分の Position)をハッキリさせること

例:

Question. What do you think about the current situation that prime ministers have changed so many times in recent years in Japan? Write your opinion with 3 valid and clear supporting details in 350-500 words.

Several years after the Prime Minister Junichiro Koizumi completed his 4 years for the prime minister in Japan, Japanese politics has been unstable due to shifts from a prime minister to another in such a short period. It might be considered as political flexibility. However, this political instability may cause a lot of confusion in the nation. I strongly believe that this is one of the serious issues to be solved as soon as possible. There are three reasons why I think so.

下線部がこのエッセイの Thesis statement (または position statement)となります。つまりエッセイの中での自分の考え、立ち位置ですね。賛成か反対か、どうすべきかなど自分のエッセイの全体の趣旨を表している文を Thesis statement と言います。これをハッキリさせていないと「このエッセイは何について書かれてるんだろう？」と読者に疑問を持たせることになるので絶対に書きましょう。

5. Factual Errors (事実に基づいていない情報)は御法度

これは説明せずともわかるかと思いますが、事実に基づいていない情報をエッセイに書くのはタブーです。現実を勝手に創ってしまわないようにしましょう。もし、ある記事ではこう言っていたけど違う記事ではまた違うことを言っていた、大抵の人(物)には当てはまるけど当てはまらないときもあるというときは助動詞の may や might、動詞の seem を使用することを心がけましょう。

例:

As everyone knows about this issue,

という文があるとします。本当に「みんな」が知っていることなのか？
太陽が東から上るというのは文字通り常識なのでそれでいいですが、もし世界

情勢や政治問題等だった場合どうでしょう？みんながみんな知っているというわけではないですよね？
そういう時に

As most people may know,

という様に most (ほとんど)と may (~だろう)を使って濁します。
こうすれば全員知っていると言っているわけではないので、問題ありません。
このようなテクニックを覚えておきましょう。

Questions and Comments

ここまで簡単に主要なものをカバーしました。しかし守らなければならないルールはまだあります。それらは添削の過程で触れられればと思います。やはりエッセイは実際に書いてみないと中々身につかないものです。なのでここに書いたことは基本中の基本、絶対に守らなければならないルールをメインに書きました。

もしわからないことや不明な点があればEER トップページ Ask Questions かお問い合わせフォームでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

なお、この EER Essay Structure & Rules は皆さんの英語小論文を添削するなかであるミスが多く見受けられた場合、解説して欲しいという需要が多い場合に随時更新していきます。

もし改善点や思ったことがあれば english.essay.reviser@gmail.com までご連絡ください。

English Essay Reviser 作者

*作者に無断でのドキュメントの転用、販売は一切禁止されています